

# 平成29年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 図画工作

学年	指導上の成果と課題の分析→	授業改善の具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が作りたいものを楽しみながら活動に取り組んでいる児童がほとんどだが、造形遊び開始までに時間がかかったり、途中で投げ出したりする児童もいる。【関心・意欲・態度】</li> <li>・自己流の使い方をしている児童に、はさみやのり、クレヨン・パスなどの基本的な使い方を指導し、きちんと使えるように指導する必要がある。また、技能に個人差がある。【技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の見本や造形遊びの過程を掲示することで児童が作品の完成イメージをもち、見通しをもって意欲的に制作に取り組めるようにする。さらに、鑑賞の時間を確保することで、児童一人一人が友達との関わりの中で様々なアイデアを生み出せるようにする。</li> <li>・道具の使い方については、全体指導と個別指導とを繰り返したり、ICT機器を活用したりすることで正しい道具の使い方を身に付けさせる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けはクラスで協力する姿勢がある。【関心・意欲・態度】</li> <li>・2年生らしく自由に豊かな発想をする児童が多いが、題材説明の理解や集中して製作する姿勢に差がある。【発想】</li> <li>・意欲が高く、楽しんで取り組む児童が多いが、はさみなど道具の使い方や描写力などの技能面で個人差が大きく、課題を抱える児童がいる。【技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、分担表で具体的な指示を出す。</li> <li>・ICT機器を活用し、造形遊びの方法を図解して説明したり、参考作品を見せたりして、視覚的に伝え、見通しをもって造形遊びができるようにする。</li> <li>・教師の模範や図解を示して道具の正しい使い方をおさえた上で個別指導する。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けはクラスで協力する姿勢がある。【関心・意欲・態度】</li> <li>・のびのびとした豊かな発想をする児童が多いが、発想到時間に時間がかかる児童もいる。【発想】</li> <li>・意欲が高く、楽しんで表現できる児童が多いが、はさみの使い方など技能面で個人差がある。【技能】</li> <li>・鑑賞では友達の作品のよさを感じることができているが、言葉で表す力が十分ではない。【鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、分担表で具体的な指示を出す。</li> <li>・発想が広がるような題材や導入を工夫したり、資料や参考作品・工夫例などを見せる事で発想のきっかけになるようにする。</li> <li>・ICT機器を活用したり、教師の模範や図解を示したりして道具の正しい使い方をおさえた上で個別指導する。</li> <li>・文型を提示し、想いを当てはめて書けるように指導する。</li> </ul>

<p>4年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲が高く、楽しんで表現できる児童が多い 片付けはクラスで協力する姿勢がある。【関心・意欲・態度】</li> <li>・造形的な創造活動のテーマを決められない児童や最後まで集中して取り組めない児童がいる。【発想】</li> <li>・鑑賞では友達作品のよさを感じることができ るが、言葉で表す力が十分ではない。【鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、分担表で具体的な指示を出す。</li> <li>・ICT機器を活用し、造形方法の図解や参考作品の 提示により造形の過程やゴールを視覚的に伝える。 制作の合間に鑑賞活動を取り入れ、互いのよさを知 る機会を作る。</li> <li>・文型を提示し、自分の想いを当てはめて書けるよう に指導する。</li> </ul>
<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して片付けができず、時間がかかる。【関 心・意欲・態度】</li> <li>・全体的に関心意欲はあるが、題材説明の理解に 個人差があり、造形的な創造活動の深まりにば らつきがある。【発想】</li> <li>・用具の扱いなどの技能面で課題を抱える児童が いる。【技能】</li> <li>・鑑賞では作品から感じたよさや印象を言葉で表 す力が十分ではない。【鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分担表で児童の仕事割り振り、個々の責任を明確 にする。</li> <li>・発想しやすい技法・材料の提示や、言葉から作品に つなげられるよう支援する。</li> <li>・ICT機器を活用したり、教師の模範や図解を示し たりして道具の正しい使い方をおさえた上で個別 指導する。</li> <li>・鑑賞カードの文型を提示し、自分の想いを当てはめ て書けるように指導する。</li> </ul>
<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けはクラスで協力する姿勢がある。【関心・ 意欲・態度】</li> <li>・丁寧に取り組めるが、表現に自信がもてず自由 な発想ができない児童や、発想に時間がかかる 児童がおり全体的に表現が小さくまとまっている 印象がある。【発想】</li> <li>・用具の扱いなどの技能面で課題を抱える児童が いる。【技能】</li> <li>・鑑賞では作品から感じたよさや印象を言葉で表 す力が十分ではない。【鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、分担表で具体的な指示を出す。</li> <li>・教員の声かけや子供同士の鑑賞活動でよさを伝え合 い、自分の表現のよさを認識させる。また、大きめ な作品や体を使った表現を取り入れダイナミック な表現を目指す。</li> <li>・ICT機器を活用したり、教師の模範や図解を示し たりして道具の正しい使い方をおさえた上で個別 指導する。</li> <li>・鑑賞カードの文型を提示し、自分の想いを当てはめ て書けるように指導する。</li> </ul>

- ・想像力をふくらませて、製作するための手立てを用意する必要がある。
- ・題材、材料、導入、資料、言葉かけを工夫することで、のびのびとした表現を引き出し、周囲を気にせず集中して制作に取り組める雰囲気をつくる。
- ・絵の具や道具の基本的な使い方を根気よく指導して、技術を習得させ、思いにあった表現ができるように支援する。
- ・発想が広がるように授業環境を整えるとともに、活動の流れをおさえ、見通しを持って作業できるように指導する。個々にあった言葉かけをする。
- ・技能面に課題がある児童がいる。
- ・それぞれに合わせた指導をする。
- ・友達の作品の認め合い
- ・用具の使い方の体験を積み重ねながら、表したいことが表現できるようにする。
- ・様々な作品を鑑賞する機会をつくったり、感じたことを発表したりする活動を取り入れさせる。